



政 晴 会 樋 口 直 喜 12

問市制施行後に育まれた歴史や文化の多くは積極的な保存がされていない。守り伝えるべき歴史遺産の情報を整理し、保存していくことが必要では。

答市長 市制施行以降の歴史遺産は、積極的な保存がされず、衰退していったものも多々あったと推察する。

こうした歴史遺産を、今後、すべてを把握し、

残していくことは困難であると考え。しかし、

令和5年度中の文化庁認定を目指している川越市文化財保存活用地域計画の中で、市制施行100

周年を契機に庁内の連携を図り、情報の整理と精査を行った上で、本市の守るべき歴史遺産について、価値付けを行うことが必要であると考え。市制施行以降の文化



政 晴 会 倉 嶋 真 史 13

問地域コミュニティーの活性化のためには、市民活動に多くの市民が関心を持つための新たな工夫が必要だと思いが、市はどのように考えるか。

答市民部長 これまで、これまで市民活動ネットワークプロジェクト事業で市民活動の活性化を図るため、市内の市民活動団体等の情報発信および団体の間のネットワークづく

りを促進してきた。

今後はこれぞ市民活動ネットワークプロジェクト事業を活用し、地域コミュニティーのより一層の活性化のため、若者の地域コミュニティーの参加やボランティアへの参加などについて、調査、研究していきたい。

地域ボランティア



自由民主党 栗 原 瑞 治 14

問夜間等の地震時に市民センター等へ避難所の鍵を取りに行くことは時間のロスである。迅速な開設のために避難所にキーBOXを設置すべきでは。

答危機管理監 現在の運用では、避難所運営班がいったん、地域防災拠点で鍵を受領しなければならず、避難所開設までにより時間を要するなどの課題があると考えている。

このため、避難所となる学校にキーBOXを設置し、現場で避難所施設の鍵を入手することは、迅速かつ円滑な避難所開設のための有効な手段であると考えられることか

ら、施設管理者側の意向も確認し、導入について検討していきたいと考えている。

迅速な避難所開設



自由民主党 海 沼 秀 幸 15

問急速に進む少子高齢化、コロナウイルスの世界的な流行、激甚災害の多発等、厳しい状況下ではあるが、30年後を見据え、市長のビジョンを問う。

答市長 急速な少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の世界的流行などさまざまな課題が顕在化しており、10年先の未来を明確に見通すことも困難な時代であると考える。

このような時代状況においても川越市総合計画で掲げた将来都市像「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」のビジョンは、30年後も揺るぎないものと考えている。この将来都市像の実現に向け、総合計画の各施策推進に全力で努めていく。

川越の今後のビジョン

地域包括ケアの推進



政 晴 会 明 ヶ 戸 亮 太 16

問より質の高い教育を実施するためにも、部活動指導員活用事業補助金を導入して、地域人材を部活動の指導者として増員していく考えはあるか？

答教育長 部活動は、学校の教育目標実現に向け、教育的意義ある活動であり、教員が指導を担うことで、技能向上、生徒の多様な学びを育んできた。補助金を活用し、教育

的意義を理解した人材を任用することは、令和の日本型学校教育を目指す上で考えていかなければならない時期にある。

今後は、地域学校協働活動を通し、スポーツ団体、地域団体等の活用も考えられる。実態を把握しながら、財政状況を考慮し、検討していく。

部活動改革



公 明 党 田 畑 た き 子 17

問中学生の頃から地域において防災に取り組むことが重要と考えるが、中学生向けのジュニア防災リーダー養成講座を開催する考えはあるか伺う。

答危機管理監 講座の目的、内容、教材をどうするかなどの課題もあるが、教育委員会ではさまざまな防災教育を推進していることから、連携して情報収集に努めていきたい

と考えている。

災害対策

